

CASBEE 広島 2016年版
(仮称)広島都町介護施設新築工事

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版
 欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
配慮項目	実施設計段階						
Q 建築物の環境品質							2.8
Q1 室内環境				0.40			3.2
1 音環境			3.0	0.15	3.0	1.00	3.0
1.1 室内騒音レベル			3.0	0.40	3.0	0.40	
1.2 遮音			3.0	0.40	3.0	0.40	
1 開口部遮音性能			3.0	0.40	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能			3.0	0.60	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音			3.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境			3.0	0.35	3.0	1.00	3.0
2.1 室温制御			3.0	0.50	3.0	0.50	
1 室温			3.0	0.38	3.0	0.57	
2 外皮性能			3.0	0.25	3.0	0.43	
3 ゾーン別制御性			3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御			3.0	0.20	3.0	0.20	
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境			2.8	0.25	3.3	1.00	3.0
3.1 昼光利用			2.4	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率	個室部分昼光率: 1.25%≤[昼光率]			2.0	0.60	5.0	0.60
2 方位別開口			-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 グレア対策			3.0	0.30	3.0	0.30	
1 昼光制御			3.0	1.00	3.0	1.00	
3.3 照度			3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御			3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境			3.9	0.25	3.8	1.00	3.8
4.1 発生源対策			4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	建物のほぼ全面にF☆☆☆☆を採用している			4.0	1.00	4.0	1.00
4.2 換気			3.0	0.30	3.6	0.38	
1 換気量	窓が開閉可能な居室において、自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上			3.0	0.50	3.0	0.33
2 自然換気性能			-	-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮			3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理			5.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視	敷地及び建物内に喫煙ブースを設けていない			5.0	1.00	-	-
2 喫煙の制御			-	-	-	-	
Q2 サービス性能			-	0.30	-	-	3.2
1 機能性			3.0	0.40	4.2	1.00	3.4
1.1 機能性・使いやすさ			3.0	0.40	5.0	0.60	
1 広さ・収納性	個室10m ² /床で、かつ多床室8m ² /床以上			-	-	5.0	1.00
2 高度情報通信設備対応			3.0	1.00	-	-	
3 バリアフリー計画			-	-	3.0	-	
1.2 心理性・快適性			3.0	0.30	3.0	0.40	
1 広さ・景観			-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース			-	-	3.0	-	
3 内装計画			3.0	1.00	3.0	0.50	
1.3 維持管理			3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計			3.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保			3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性			3.1	0.30	-	-	3.1
2.1 耐震・免震・制震・制振			3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能			3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数			3.4	0.30	-	-	
1 転体材料の耐用年数			3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔			3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔			3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔			5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔			3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性			3.0	0.20	-	-	
1 空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3 電気設備			3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性		3.2	0.30	3.0	1.00	3.1
3.1 空間のゆとり		3.4	0.30	3.0	0.50	
1 階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		4.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり		3.0	0.30	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性		3.4	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性	ケーブルラックを使用することで、構造部材だけでなく、仕上げ材を痛めることなく電気配線の更新・修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性	ケーブルラックを使用することで、仕上げ材を痛めることなく通信配線の更新・修繕ができる	5.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)		-	0.30	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮		2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性		-	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー		-	0.40	-	-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制	[BPI][BPIm]=0.63	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEIm] : 0.83	2.8	0.50	-	-	2.8
4 効率的運用		3.5	0.20	-	-	3.5
集合住宅以外の評価		3.5	1.00	-	-	
4.1 モニタリング	レベル3に加え、主要な用途別エネルギー消費の内訳を把握して、消費特性の傾向把握・分析を行い、妥当性が確認できる	4.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価		-	-	-	-	
4.1 モニタリング		-	-	-	-	
4.2 運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル		-	0.30	-	-	3.6
1 水資源保護		3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水	節水コマなどに加えて、省水型機器などを用いている	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2 雜排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減		3.7	0.60	-	-	3.7
2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	エスリュームリアル、NTP-7100、再生クラッシャーラン	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別可能であるLGS工法と再利用可能であるOAフロアを採用している	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避		3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避		4.0	0.70	-	-	
1 消火剤		-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いた断熱材等を使用している	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境		-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO2排出率:86%	3.5	0.33	-	-	3.5
2 地域環境への配慮		2.5	0.33	-	-	2.5
2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 污水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮		3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
1 騒音		3.0	1.00	-	-	
2 振動		-	-	-	-	
3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制		3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制		-	-	-	-	
3 日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制		3.7	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうちらに漏れる光への対策	光害対策チェックリストの一部を満たし、広告部照明は設置されていない	4.0	0.70	-	-	
2 曙光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	